施策評価調書(28年度実績)

					施東コート 皿ー	4-(2)
政策体系	施策名	広域交通ネットワークの整備推進	所管部局名	土木建築部、企画振興部	長期総合計画頁	163
以來体示	政策名	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	関係部局名	土木建築部、企画振興部		

【 I. 主な取り組み】

取組No.	1	2	3		
取組項目	広域道路交通網の整備推進	東九州新幹線整備等鉄道の高速化の促進	広域交通ネットワークの強靭化の推進		

【Ⅱ. 目標指標】

Γ			関連する	連する 基準値		28年度		31年度	36年度	度 目標達成度(%)					
			取組No.	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
	ij	大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合(%)	1	H26	73	73	73	100.0%	76	78					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理 由 等	平均評価
i	達成	H28年度は開通による割合の向上はないが、(都)庄の原佐野線や中九州横断道路など、大分市中心部までの所要時間の改善に資する事業を引き続き推進している。	達成

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

T IA	. 拍標以外の観点からの計画】
取組 No.	指標以外の観点からの評価
1	・東九州自動車道が北九州市から宮崎市までつながり、九州縦貫自動車道と一体となり、循環型ネットワークが形成された。 ・由布岳スマートICの開通により、塚原地区へのアクセス性が向上するとともに、隣接する別府市や宇佐市と一体となった観光振興に寄与した。
2	・県、沿線市町などで構成する日豊本線高速・複線化大分県期成同盟会において、日豊本線の高速・複線化について国、JR九州に対し要望を行った。 ・官民一体の推進組織「大分県東九州新幹線整備推進期成会」を設立し、県民機運醸成のためのシンポジウムの開催や国への要望を行った。
3	・災害時の輸送の代替性を確保するため、高速道路の4車線化に向けた取り組みや地域高規格道路の整備を促進した。 ・臼杵坂ノ市線江無田橋などの緊急輸送道路上の橋梁を対象として、落橋を防ぐ耐震対策を実施している。

【V.施策を構成する主要事業】

取組	事業名(28年度事業)	事業コスト	事務	主要な施策の	
No.		(千円)	総合評価	29年度の方向性	成果掲載頁
1	(公)道路改良事業	17,000,647	1	1	200
3	道路施設補修事業	11,155,034	-	-	193
3	港湾整備事業	1,865,152	ı	1	198

【VI. 施策に対する意見・提言】

〇土木建築委員会への市町村長要望(H28.6)

- ・東九州自動車道の全線完成に加え、暫定2車線区間の4車線化に向け配慮をお願いしたい。
- ・地域高規格道路「中津日田道路」の「日田山国道路」の早期着工、「耶馬溪道路」・「三光本 耶馬渓道路」の早期完成及び、耶馬溪町から山国町の間の計画路線の早期事業化をお願い したい。
- ・地域高規格道路「中九州横断道路」の「朝地〜竹田間」の早期開通と「竹田〜阿蘇間」の早 期事業化に配慮をお願いしたい。
- 〇経済5団体「東九州新幹線の早期実現について」の要望(H28.8)
- ・東九州と西九州を一体的に発展し「九州は一つ」の理念を実現するため、東九州新 幹線の早期実現について特段の配慮をお願いしたい。
- 〇大分経済界等による中九州横断道路·中津日田道路の要望(H28.11)
- ・本県の横軸を担う地域高規格道路(中九州横断道路・中津日田道路)は、九州の一体的な発展を図るために必要不可欠な道路であることから、物流を円滑にし、産業・経済活動を活性化させるために、早期整備について配慮をお願いしたい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
Α	 ・中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路は未だ整備途上であることから、人や物の流れを活性化させ、観光や産業を発展させる地域高規格 道路の整備を推進する。 ・東九州自動車道は県内全線開通したものの、暫定2車線区間が多く残り、重大事故の危険性が高く、緊急車両の到着遅延など課題が顕在化しており、4車線 化の取り組みを推進する。 ・別府湾スマートICの整備を推進する。 ・緊急輸送道路上の橋梁について、引き続き計画的な耐震補強を推進する。